

悪魔に同情は無用：ウクライナ正教が「神なき」 ゼレンスキー政府に挑戦

Sputnik News /Sergey Lebedev

March 31, 2023

キエフ臨時政府がキリスト教徒を公然と弾圧し、すべての法律を堂々と無視し、しかもゼレンスキー政府のアメリカ操縦者が沈黙し、起こっていることに目を瞑っているが、ウクライナ正教信徒たちは、あえてその信仰を護っている。うわさによると、教区民たちは再び、国家委員会が僧院に入ろうとするのを阻止したという。

キエフ-Pechersk Lavra 僧団は、タオルを投げ込んで、立ち去ることを拒んでいる。彼らは自分たちを護るために、国法を盾にとって要求を貫こうとしている、と、ウクライナ正教会の情報と教育局長 Metropolitan Kliment は言った。これらの僧団や聖職者たちは、もし追放されたらどこへ行くのかと、ジャーナリストに訊ねられたとき、彼は応えて、そのようなオプションは考えていない、ウクライナにはキリスト教正教を含めて、すべての宗教を護る法律があるからだ、と言った。

ウクライナのキリスト教徒は、キエフ正教会を接収しようとするキエフ政府の試みに抵抗している：ビデオ

しかしアナリストたちは、ゼレンスキー政府は、キリスト教徒の迫害を続けようとし、法や人権を尊重するつもりはないのだと強調する。教会、社会、マスメディア、ロシア正教の間の関係を担当する「教会宗務部」議長 Vladimir Legoyda は、こう言った：——ゼレンスキーとその徒党は、もともと宗教について無知だったのだが、アメリカの操縦者たちがやってきて、彼の頭にある考えを吹き込み、キリスト教がロシアとウクライナで果たしている重要な役割を説明した。

その計画は、ロシア人とウクライナ人の間に宗教的な分断を作り出すことで、それは、クーデタ後の制度によって、人工的な、いわゆる「**ウクライナの正教会**」（これは合法的組織である「**ウクライナ正教**」ではない）を合法化することだった。

「ウクライナの正教会」は、大多数のキリスト教徒によって受け入れられず、したがってキエフ政府と、そのワシントンのボスたちは、何とかしてその正当化をひねり出す方法を考えている。キリスト教正教会の国家的シンボルである、キエフ-Pechersk Lavra の接収は、この政府のニセの教会の合法化を狙ったものである。しかし専門家の説明では、神聖な神殿を「ウクライナの正教会」の手に渡すことは、ウクライナの信者たちを、道徳的に破産したキエフ臨時政府から、ますます遠ざけるだけだと言っている。

3月30日木曜日、ウクライナの信者たちは、キエフ-Pechersk Lavra とその僧団を、ウクライナの官憲から護るために集まった。

その抗議は非暴力的だったが、信者たちはゼレンスキーに対し、「神に戦争を仕掛けるものだ」と繰り返し警告した。僧侶たちは「神なき」キエフ政府を非難し、Vladimir Legoyda は、この事件を、腐敗し墮落したローマ皇帝による、キリスト教の迫害にたとえた。

聖職者たちが、「大齋」 Great Lent の間、「神なき」ゼレンスキー政府によるキエフ正教会接収を非難

3月10日、ウクライナの官憲は、キエフ-Pechersk Lavra 正教僧団に対し、理屈の通らぬ口実で、3月29日までに僧院を明け渡すよう要求した。彼らは、ウクライナ正教会は、国家資産使用の合意された条件に抵触している、というような主張をした。信徒たちはこれらの要求に驚き、この命令が、キリスト教徒にとって最も重要な期間である、「大齋」（復活祭を準備する期間）に続いてやってきた事実を強調した。

【訳者 Greatchain 注】

聞きたいことがある。ウクライナ政府の正しさを主張し、ロシアの罪状を主張した NHK の特集番組は、これにどう答えるつもりか？ これを読んだ人々はその逆を考えるであろう。誰が見ても、不当であり不正であるのはゼレンスキー政府の方ではないのか？ しかもゼレンスキーは、別の論文でも言っていた通り、本来、宗教などに関心がなく、アメリカの（CIA の）指図で動いているにすぎない。アメリカ現政府（グローバリスト）は、やはり予想していた通り、ロシア正教（人）とウクライナ正教（人）を「分離して統治する」ことを考えたが、そんな奸計は失敗に終わると考えねばならない。

更に言えば、NHK は宗教をタブーのように恐れ、「神」を口にしてはならないことになっているが、それはやはり、ウクライナ政府と同じく、グローバリストの差し金としか

考えられない。その点でNHKは、現ウクライナ政府が、（ここで「臨時政府」=クーデタ政府と呼ばれ）本来の自分でなく、指導されたものであるのと、同じ立場にある。ウクライナは、本来ウクライナ正教のものである。実は、グローバリストが最も恐れ、蓋をしておきたいのは宗教であり「神」である。では「神」とはどういうものか？ 神とはこのようなものである：<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/200407.pdf>
そして彼らの恐れを中心にあり、したがって嚴重に封鎖しているのが Intelligent Design である。ということは、それが一旦解放されたとき、我々の生きる世界の風景が、一気に変わるということである。<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/180320.pdf>